

●主題名

相手のことを知って より良く関わろう①

●教材名

なにかできるかな？ なにかできるかな？

(出典：「通常の学級における障害理解のためのツール開発に関する研究」  
独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 (現 国立特別支援教育総合教育研究所))

●人権学習の視点

普遍的な視点「コミュニケーション能力」

●主題・教材について

学校には様々な特性を有する子どもがおり、特に発達障害等の特性についての十分な理解がない場合、その言動等に対してからかひやトラブル等が生じたり、当人の自尊感情が低下してしまうこともある。個々の特性については、学校生活の中でお互いが実際に関わりを持ちながら理解を深めていくことが最も自然で有効であると考えられるが、授業等を通して正しい理解をしていくことも重要である。

本教材は、発達障害等の特性について理解する教材「見た目だけでは分からないけど 知っていた？」の前段階として、障害の有無に関わらず、周りから見て理解されにくい個々の特性について考えるものである。より良い人間関係を築くために、相手の気持ちに気づき、正しく理解しようとする態度を養いたい。

●ねらい

3つのケースについて、当人がどのように考えているのか、また何を望んでいるのかを考えさせ、より良い人間関係を築くために、相手の気持ちに気づき、相手を正しく理解しようとする態度を養う。

●関連する教材

人権学習資料集<小学校編Ⅳ> 「見た目だけでは分からないけど 知っていた？」  
(5・6年生用)

●本時の展開

※実施にあたっては、例として取り扱う特性や、登場人物の名前など、学級の児童の状況や保護者の思いなどに十分留意すること。

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
	<b>最近、新しくできるようになったこと、今でも上手くいかないことはありますか</b>				
導入	○最近できるようになったことを考えさせる。	一斉	○できるようになったことを発表する。 ・鉄棒で逆上がりができた。 ・漢字が覚えられるようになった。	○内容は学習面でも生活面でも構わないが、次の「上手くいかないこと」につなげる視点をもっておく。	
	○頑張っているもなかなか上手くいかないことを考えさせる。	一斉	○頑張っているも、なかなか上手くいかないことを発表する。 ・鉄棒がなかなか上手くならない。 ・漢字がなかなか覚えられない。	○誰にでも、なかなか上手くいかないことがあること、同じことでも人によって、上手くいくことと、上手くいかないことがあることに気付かせる。  ○教師の体験談を交える。	
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○上手くいかないことに取り組んでいる人との関わり方について、考えることを課題とする。	

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	<b>上手いかなことや、すぐにはできないことに取り組んでいる時、どんな気持ちになるのか考えよう</b>				
	○上手いかな いことに取り組 んでいる時に、 どんなことをさ れると、不安に なったり、安心 したりするかを 考えさせる。	一斉	○頑張っているけれども、上手いかないときの気持ちを考える。	○具体例を一つ挙げて考えさせる。 例：鉄棒の練習をしていてなかなか上手いかない。	
		一斉	○どんなことをされると不安になったり、悲しくなったりするかを発表する。	○苦手なことをしている時は特に不安になったり、傷つきやすくなったりすることに気付かせる。	
		一斉	○どんなことをされると安心するかを発表する。	○周りの人の関わり方によって、気持ちが大きく変わることに気付かせる。	
	<b>こんな時、どんな気持ちかな どのように関わったら良いのかな</b>				
	○3つのケース で、その人はどう 思っているのか、 自分だったら何が できるのかを考え させる。	一斉	○それぞれのケースで、その人がどう思っているのか、また自分だったら何ができるのかを考える。	○頑張っているけれど上手いかないことに取り組んでいる人の気持ちは、周りから見ているだけでは分からないことに気付かせる。	掲示資料①
		一斉	<b>カズさんのケース</b> 思い：熱があったことを分かってほしい。 行動：「何かあったの」と声をかける。など	○誰もが経験しそうなケース（カズさん）から、個別の特性に関連するケースについて、順に考えさせていく。	
		一斉	<b>ウラウさんのケース</b> 思い：あっち、こっちと言われてもよく見えないよ。 行動：一緒に近くまで行って見やすいところで言う。など	○相手の気持ちに立って考えるという視点を持たせる。	
	○人の感じ方、 対応の仕方には、 それぞれ違いが あることを理解 させる。	グループ 個別 一斉	<b>ハナさんのケース</b> 思い：上手に読めない。もう読むのが嫌だ。 行動：一緒に読む。など	○ハナさんがどう思っているのかをグループで考えさせ、ワークシートの吹き出しに意見を書かせる。  ○グループで交流した内容を受けて、「自分だったら、何ができるかな？」に考えを書かせ、発表させる。	掲示資料④、⑤ ワークシート
		一斉	○発表を聞き、感じ方や対応にはそれぞれ違う考え方があることを理解する。	○発表した内容について、異なる意見をいくつか取り上げ、感じていることは人によって異なることに気付かせる。  ○自分の考えた関わり方が、必ずしも当人の思いと同じとは限らないことにも気付かせる。	

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	<b>相手がどう感じているのか、どうすることが大切なのかを考えよう</b>				
	○上手いかわないことに取り組んでいる人と、より良い関わり方をすることで大切なことを考えさせる。	グループ	○上手いかわないことに取り組んでいる人と、より良い関わり方をすることで大切なことを考え、発表する。		
ま と め	○より良い人間関係を築く上で大切なことを振り返らせる。	一斉	○学習を通して、思ったこと、感じたことを振り返る。	○上手いかわないことに取り組んでいる人と関わる時は、次の点を意識するようにさせる。 ・相手の関わり方によって影響を受けやすいこと ・見た目だけでは、どんなことに困っているのか判断できないこと ・話を聞いたりすることで、相手がどう考えているのか理解しようとする	
	○学習で感じたことを書かせる。	個別	○学習を通して、思ったこと、感じたことを書く。		感想文用紙

### ●評価

より良い人間関係を築くために、相手の気持ちに気づき、相手を正しく理解しようとする態度を養うことができたか。

## 平成 28 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都市市長会会長賞  
長岡京市立長岡第四中学校 3年  
大畑 千裕 さん